

第1回瀬戸内海観光連携推進会議

●日 時 平成25年6月2日(日)～3(月)

●場 所 フェリー「さんふらわあ こぼると」船内、
大分県豊後高田市

●出席者 19名

○6月2日(日)フェリー「さんふらわあ こぼると」船内

- ・講演 1.「船舶共有建造制度について」
鉄道・運輸機構 理事 後藤 靖子氏
- 2.「瀬戸内海クルーズの振興について」
元近畿運輸局長 大黒 伊勢夫氏

- ・会議 1. 平成25年度の取り組み(案)について
 - ①瀬戸内海モデルコース構築調査事業
 - ②瀬戸内海クルーズ推進事業
 - ③九州～関西広域インバウンド促進事業
 - ④継続事業
 - ・ホームページ及び瀬戸内クルーズ寄港地
紹介マップによる情報発信
 - ・「せとうちサイクルーズPASSの取り組み
- 2. 瀬戸内海観光宣言(案)

○6月3日(月)大分県豊後高田市

- ・豊後高田市役所 松永市長を表敬訪問
- ・「昭和の町」視察



瀬戸内海観光宣言

「瀬戸内海観光連携推進会議」は、瀬戸内海が古来より我が国の歴史・文化・産業の発展を育み、また、瀬戸内海の有する風光明媚な景勝地や島々、趣ある町並みや郷土料理が、大きな観光資源となり得るものと認識し、瀬戸内海の良質な観光資源を活かした観光の振興が、魅力ある地域づくり、地域経済の活性化、ひいては我が国の発展や生活の向上に繋がると考える。瀬戸内海は日本最初の国立公園として指定を受け、来年は80周年を迎える中、今後も関係行政機関、交通・観光事業者等関係の方々との連携しながら、以下の取り組みを行う。

- 一 映像等を用いた国内外に向けた瀬戸内海の魅力発信
- 一 歴史・文化等を活用した瀬戸内の島の魅力の磨き上げ
- 一 既存航路の活性化及びこれらの航路を活用した観光周遊モデルコースの設定及び広報宣伝
- 一 大型クルーズ船による、近畿から九州エリアに立ち寄る瀬戸内広域クルーズの誘致
- 一 観光旅行者受入地におけるおもてなし気運の醸成

平成25年6月2日

瀬戸内海観光連携推進会議